

檀信徒 各位

今年の盆供養について

冠省

世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、政府は緊急事態宣言の発令に踏み切り、私たちは、国を挙げての防止策に努めてまいりました。5月22日現在、東京都・隣接県と北海道などを残して宣言は解除されましたが、専門家の見解では二次感染発生の恐れもあり、まだまだ予断を許さない状況下の、いわゆる「三密」を避ける行動の厳重遵守が求められています。

本山はじめ宗務庁および宗派を超えた地元仏教会においても「三密を避ける」ことに重点を置き、年内の行事の中止、縮小、延期など、かつてない対応を勧告しております。

そんな渦中、当山においては檀家総代様、関係者などのご意見を参考に、以下の措置にてご先祖様へのご供養に勤めたくご案内申し上げます。

不一

記

- 1、例年の7月初旬からの各家訪問の、いわゆる「^{たなごよう}棚経」をお休みさせていただきます。
- 2、「^{せじきはた}施食旗」をお送りしますので、各家にて飾って頂き、お祀り下さい。
- 3、例年の「^{てらせがき}寺施餓鬼」は、混雑を避けるため、15日(水)の13時と15時の2回に分けて勤めさせていただきますので、どちらかの時間にお詣り下さい。また、お詣りは、一家庭1～2名様にてお願いいたします。

以上の3点をご了承賜り、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

追伸 同封させていただいた「施食旗」は、12日までにお仏壇にお飾りください。

ご承知の通り、当山では13日迎え火、15日送り火にてご先祖様をお迎え、お祀りし、15日夕刻、山門前の「精霊送り」にて盂蘭盆会の終尾とします。

また、「施食旗」は中国の五行説により、青黄赤白黒の五色に彩られ如来の精神と智慧を現わしています。五人の如来は、餓鬼道に堕ちて苦しんでいる人々を仏の道に目覚めさせ、安楽の境地へと導いて下さるのです。

以上

不測の事態とは申せ、皆さまにはご迷惑をおかけします。どうぞよろしくご理解、ご協力頂きますよう衷心よりお願い申し上げます。(その他、ご不明な点は当山までお問い合わせください。)

令和2年6月

真徳山天林寺 伊藤文元